

船舶事故等調査報告書

平成25年8月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第54号
事故等種類	運航不能（機関損傷）
発生日時	平成24年12月13日 22時30分ごろ
発生場所	沖縄県 <small>くしがみ</small> 国頭村 <small>へど</small> 辺戸岬北方沖 辺戸岬灯台から真方位351° 15.0海里付近 （概位 北緯27° 06.8′ 東経128° 12.0′）
事故等調査の経過	平成24年12月20日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 <small>みなみまる</small> 南丸、3.2トン
船舶番号、船舶所有者等	ON3-280101（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	主機冷却清水ポンプのゴムインペラに破損
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、中古で購入した本船を回航するため、沖縄県 <small>いとまん</small> 糸満市糸満漁港に向けて辺戸岬北方沖を南進中、平成24年12月13日22時30分ごろ主機冷却清水ポンプのゴムインペラが破損した。 船長は、機関の調子を見るため、機関室のハッチを開放して操船していたところ、機関室から白煙が出ていることに気付き、冷却水温度が上昇していることを確認したので、自力航行を断念して海上保安庁に救助を要請し、本船は、来援した巡視艇にえい航されて沖縄県 <small>なご</small> 名護市名護漁港に入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好
その他の事項	本船は、約1年間運航されていなかったが、売船時に主機冷却清水ポンプのゴムインペラ、主機潤滑油、グランドパッキン及びバッテリーは新替えされていた。 船長は、本船の購入時に仲介者を通じて整備を依頼していたが、引渡しの際、本船の整備状況を確認していなかった。
分析	
乗組員等の関与	なし
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、辺戸岬北方沖を航行中、主機冷却清水ポンプのゴムインペラが破損したことから、冷却水温度が上昇したことにより、運航不能になったものと考えられるが、同ゴムインペラは、船長が本船を購

	入した際に新替えされており、破損に至った要因を明らかにすることはできなかった。
原因	本インシデントは、夜間、本船が、辺戸岬北方沖を航行中、主機冷却清水ポンプのゴムインペラが破損したため、冷却清水温度が上昇したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・発航前に整備状況や装備品の確認を行うこと。